

2010年8月5日

各位

オリックス株式会社
(コード番号: 8591)

2011年3月期 第1四半期連結決算(4月～6月)
当期純利益は前年同期比2.3倍の165億円、全セグメントが黒字化

2011年3月期第1四半期(2010年4月1日～2010年6月30日)の米国会計基準連結決算における税引前当期純利益は前年同期比2.1倍の246億円、当期純利益は同2.3倍の165億円となりました。

事業部門別においては、2009年3月期第2四半期以来、7四半期ぶりに全セグメントで黒字となりました。なお、当期純利益は通期見込み570億円に対しておよそ29%の進捗となります。

■ 主な経営指標の推移

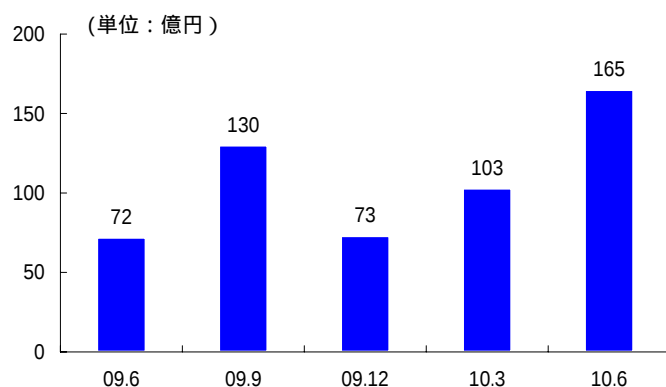
	2009.4-6	2010.4-6	増減率
営業収益	2,330 億円	2,345 億円	1%
税引前当期純利益	120 億円	246 億円	106%
当期純利益 (1)	72 億円	165 億円	129%

	2010.3	2010.6	増減率
総資産 (2)	77,398 億円	87,042 億円	12%
株主資本	12,987 億円	12,668 億円	▲2%
株主資本比率	16.8%	14.6%	-

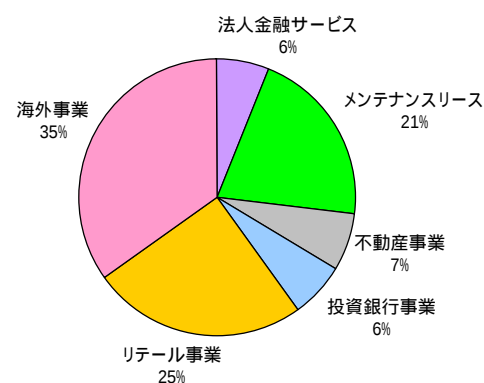
(1) 「当期純利益」は、決算短信などの財務諸表で記載している「当社株主に帰属する当期純利益」と同じ。

(2) 「総資産」は、米国財務会計基準変更に伴い、当連結会計年度より連結する変動持分事業体(VIE)が増加した結果、総資産が増加しております。詳細については決算短信および補足資料をご覧ください。

『当期純利益(四半期)の推移』



『当第1四半期のセグメント利益内訳』



■ 各セグメントの業績概要

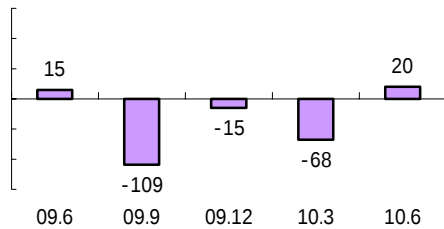
7四半期ぶりに全セグメントで黒字になるとともに、全セグメントで前年同期を上回る利益を計上しました。

「メンテナンスリース事業部門」「リテール事業部門」「海外事業部門」の業績は順調に推移しています。

【法人金融サービス事業部門】

融資、リース、金融商品販売などの手数料ビジネス、環境関連ビジネス

(単位：億円)

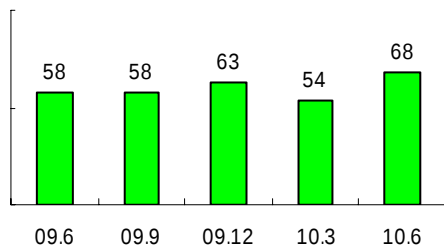


- ・貸倒引当金繰入額の減少もあり、セグメント利益は前年同期比 32% 増の 20 億円を計上し、4 四半期ぶりに黒字化。
- ・M & A などを通じた小口優良資産の積み上げや手数料ビジネスも着実に拡大を図る。

【メンテナンスリース事業部門】

自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、測定機器・情報関連機器などのレンタルおよびリース

(単位：億円)

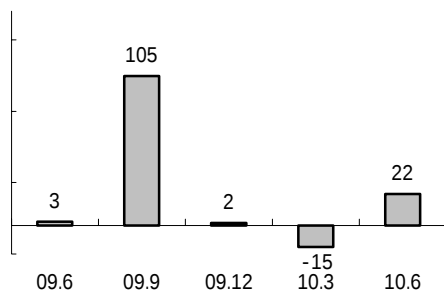


- ・リース、レンタル事業とともに業界 NO.1 のシェアと高い専門性を有し利益は安定推移。
- ・環境変化と新たな顧客ニーズに対応した付加価値サービスを提供。
- ・セグメント利益は、前年同期比 16% 増の 68 億円を計上。

【不動産事業部門】

オフィスビル・商業施設などの開発・賃貸、マンション分譲、ホテル・ゴルフ場・研修所などの運営、高齢者向け住宅の開発・運営、不動産投資法人 (REIT) の資産運用・管理、不動産投資顧問

(単位：億円)

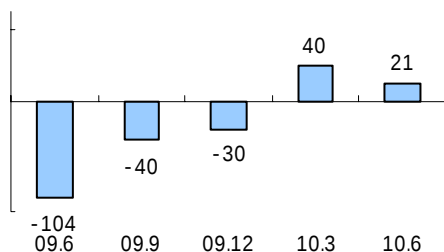


- ・賃貸不動産のリーシングに注力し、低い空室率と高い利回りを維持。
- ・賃貸不動産売却益も寄与。
- ・セグメント利益は 22 億円を計上。

【投資銀行事業部門】

不動産ファイナンス、商業用不動産担保ローンの証券化、サービサー (債権回収)、プリンシパル・インベストメント、M & A アドバイザリー、ベンチャーキャピタル、証券

(単位：億円)

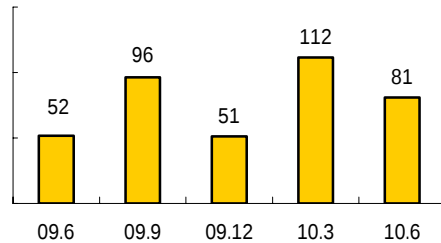


- ・ノンリコースローンはグループのバリュチェーンにより順調に回収、収益性も向上。
- ・サービサー事業は質の高い専門性による優位性を発揮し収益が増加。
- ・セグメント利益は、前年同期の 104 億円の損失から 21 億円の利益計上。

【リテール事業部門】

生命保険、信託銀行、関連会社のカードローン、オンライン証券

(単位：億円)

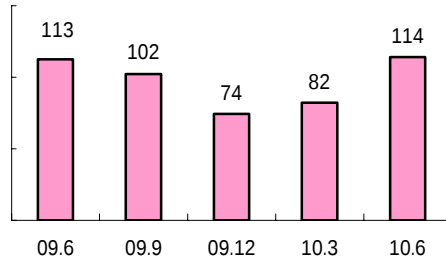


- ・ 生命保険事業は新商品の発売も寄与し契約件数が増加。保険収益、運用収益ともに大幅増益。
- ・ 信託銀行事業は融資が伸長。資産規模 1 兆円を突破し、収益、利益ともに堅調に拡大。
- ・ セグメント利益は、前年同期比 56% 増の 81 億円を計上。

【海外事業部門】

リース、融資、債券投資、投資銀行、不動産関連、船舶・航空機関連

(単位：億円)



- ・ 米国、アジア現法ともに高収益を持続。
- ・ アジアのオペレーティング・リース収益や米国のフリーハン社やレッドキャピタル社の手数料収益が貢献。安定収益基盤の拡大と投資の両面で積極展開を図る。
- ・ セグメント利益は前年同期比 2% 増の 114 億円を計上。

オリックスグループは、多角化したポートフォリオによる事業展開を軸としながら、「金融＋サービス」「アジアにおける事業拡大」「環境・エネルギー等新規分野」の3つを当面の注力分野とし、更なる成長を実現していきます。

なお、2011年3月期の当期純利益は570億円（前期比51%増）を予想しています。また、通期での全セグメント黒字化を目指します。

詳細は、当社ホームページにて掲載の決算短信および決算補足資料をご覧ください。

URL : http://www.orix.co.jp/grp/ir_j/data/

以 上

< 本件に関するお問い合わせ先 >

広報部 池田・堀井 / 経営企画部 IR チーム 富永・竹村

TEL : 03-5419-5102